

夏のおてがみ

2018
富田林市立図書館

5年生・6年生

夏休み、さあ何して遊ぼう？

プールに行ったり、旅行したい…

本を読んでゆっくりすごすのもいいかも。



四人のおばあちゃん

ダイアナ・ウィン・ジョーンズ／作
野口 絵美／訳 佐竹 美保／絵
徳間書店

エルグとエミリーの両親が仕事で出かけることになり、孫のめんどろをみようとして、おばあちゃん四人全員がせいぞろい。妹のエミリーは、絵本をもらってバスルームにこもって出てこない。ものづくりが好きなエルグは、家中のいろんな部品で“願いをかなえてくれる機械”を作りはじめるのですが、これが原因でたいへんな一日を過ごすことに…。

みんなの相撲大全

① 大相撲を楽しもう！

デーモン閣下／監修
教育画劇



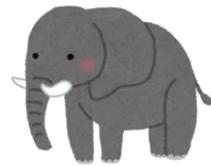
大相撲は、取っ組み合いや投げ飛ばしあいを観戦するだけでも面白いのですが、昔から受け継がれた決まり事やルールがたくさんあり、知れば知るほど大相撲の奥深さを感じることができるかもしれません。土俵での力士の作法、勝負がつくときのたくさんある技の名前、まわしのしめ方、弟子入りする方法まで知ることができます。

ルソンバンの大奇術

牡丹 靖佳／著 福音館書店



ルソンバンは背が高く、ハリガネのようにピンと立ったヒゲのマジシャンです。20年前はふしぎなマジックでみんなをおどろかせ、たいそうな人気でした。ところが、重大な失敗をしたため、今はカフェで時々マジックをしてお金をかせいでいます。ある日、ルソンバンが少年と犬にマジックを見せると、とても喜んでくれました。



動物たちは、冒険家！

キム・トマス／文
フリオ・アントニオ・プラスコ／絵
宇野 和美／訳 河出書房新社



動物たちのなかには、長い旅をするものがたくさんいます。たとえば、アカウミガメは、大西洋をぐるぐる回ります。アフリカゾウは、水をさがしてアフリカ大陸をめぐります。サバクトビバッタは、500億匹ほどのむれで、風によって飛んでいきます。動物たちのすごい生き方をしょうかいした本です。

ジャータカものがたり あわてんぼうウサギ

中川 素子／再話
バーサンスレン・ポロルマー／絵 小学館



うみべちかくのヤシのきばやしに、おくびょうなうえに、あわてんぼうなウサギがすんでいました。なぜか、こかげでやすんでいるウサギのからだを、やさしくなでていきます。きもちのよいひなのに、「このせかいがこわれたらどうしよう」と、ウサギはきゅうにしんぱいになりました。



調べてみよう 都道府県の特産品 お菓子編

嶺月 香里／文
都道府県の特産品編集室／編 理論社

神奈川県鎌倉市の「鳩サブレ」っていうお菓子をしてる？鎌倉市の鶴岡八幡宮の“神のつかい”のハトをお菓子の形にしたんだって。この本には、各都道府県を代表するお菓子がのっているよ。お菓子の由来や材料はその土地の風土や文化と深いかわりがあるんだ。どのお菓子も大きな写真でのっていて、とてもおいしそう。

基本から大会まで 勝つ！ 長なわ8の字跳び 最強のコツ

西沢 尚之（富士市なわとび協会会長）／監修
日本ロープスキッピング連盟／協力 メイツ出版

長なわ「8の字跳び」ギネス記録ができるまでの基本から大会までのことが書かれています。チームワークの大切さや8の字跳びのしくみ、ジャンプの姿勢、並び方、タイミングなどこと細かく、チェックポイントとして書かれています。わかりやすい文章とよくわかる写真を見ながらいろいろなコツをおぼえて取り組んでみよう。



俳句でみがこう言葉の力

① 俳句のきまりと歴史

小山 正見（日本学校俳句研究会代表）／監修
学研プラス

俳句を作ってみよう！基本のかたちと季節語（季節を表す言葉）を知っていれば、自然の様子や身近なできごと、感じたことを、五・七・五のリズムにのせて、かんたんに作れます。俳句は読み手の感覚を刺激して、イメージを伝えることができるので、発見力やひらめき力が高められます。昔の人が作った俳句も読んでみて。



イードのおくりもの

ファウズィア・ギラニ・ウィリアムズ／文
プロイティ・ロイ／絵 前田 君江／訳
光村教育図書



明日はイスラム教のお祭り「イード」です。イスマトは、家族のために、すてきなイードのおくりものを買うことができました。しかし自分に買ったズボンだけは、長すぎました。おくさんやむすめにすそ直しをたのみましたが、みんなイードの準備にいそがしくて、できません。イスマトのズボンはイードに間に合うのでしょうか。



イチからつくる ワタの糸と布

大石 尚子／編 杉田 比呂美／絵
農山漁村文化協会



服の素材は色々あります。中でも綿は馴染み深いですね。糸や布になる前の「ワタ」ってどんなもの？じつはワタは植物のタネの毛なのです。この本では、ワタの育つ様子や、ふわふわのワタから糸にするための方法、布を織る方法、歴史などが紹介されています。身近にあるもので糸を紡げるのでやってみると楽しいですよ。

くつや 靴屋のタスケさん

角野 栄子／作
森 環／絵 偕成社

1942年の夏。おもて通りにタスケ靴店が越してきました。ぼろぼろになった靴も直してくれます。戦争中で新しい靴の材料はなかなかみつかりませんが、タスケさんは赤い靴をあつらえてくれます。けれども、タスケさんは兵隊にいてしまいます。戦争が終わり、1年生だったわたしは15歳になり不思議なことに会います。



もっと知ろう！発酵のちから

中居 恵子／著
小泉 武夫／監修
ほるぷ出版

わたしたちの身の回りには、微生物とよばれる、目には見えない小さな生きものがいて、栄養満点の発酵食品を作っています。牛乳をヨーグルトやチーズに、大豆を納豆や味噌に変身させるのです。発酵食品の歴史は、はっきりとしていませんが、なんと古代エジプトで発酵パンが作られていたことがわかっています。

